

事業名 中小河川整備事業みょうしゅうじがわ 妙正寺川
整備工事（その104）

治水安全度を向上させつつ、自然環境に配慮した河川改修を行い、この過程を地元住民代表からなる河川情報連絡会にてタイムリーに情報提供することによって、河川を散策する人々から高い評価を得た事業

受賞機関 東京都建設局第三建設事務所
事業実施期間 平成13年10月9日～平成14年7月10日
事業費 216百万円

事業等の特徴

平成5年当時は地域のシンボルである桜並木を切って工事を行う方向としていたため、住民の反対を受けた。そのため事業者及び住民等で構成される「河川事業情報連絡会」等を設置し、地元住民等との情報交換を行い、地域のシンボルである桜並木を保存する形で計画等を再検討し工事を実施した。

事業の概要と利用者等の評価

妙正寺川は、杉並区の妙正寺池に源を発し、豊島区高田付近で神田川に合流する。改修工事にあたり、計画線内（河川区域）にある樹木が支障となるために移植または伐採をして、コンクリート護岸を設置することとしていたが、住民の反対により、自然保護の観点から現地の樹木を積極的に残し、または植樹し、環境に配慮した整備をするため、根固め工による護岸とした。

事業の効果

- ・河積が拡大して治水安全度が向上するとともに、桜を着工前のまま残すことに成功し、以前と変わらない景観を保全することができた。同様に、既設石積み護岸の隙間から湧き出る地下水も保全する

ことができた。

- ・流域の住民及び都・区が河川に係る情報や意見の交換を行うことを目的とし、『連絡会』を設置している。この連絡会では、定期的に会議を開催したり、『河川だより』を発行するなどして地元住民と情報等の交換を行っている。

地元住民から以下のような意見・感想があった。

- ・住民との対話を重ね、都市にとって貴重な資源である桜を残す努力をされたことは非常にありがたい。
- ・工事連絡会において、地元住民に対して事業の進め方、時期などについて常に最新の情報を提供していること、地元住民の意見要望を受けて、今後の事業展開に活かしていく努力をしていること等は評価したい。

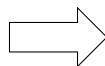
また、当事務所では『中野通りさくら並木を守り育てる会』を設置し、街路樹の適切な維持管理を行うこととしている。

審査委員会委員の意見等

- ・河岸の桜並木保全を強く求める住民の声に押されて当初計画を変更して行われた河川整備事業であり、工法の工夫等によって住民の満足する結果となったことは、技術力、行政の柔軟性を示す点において評価されるが、反対がなければ当初計画で良かったのか、問題提起を伴う事例といえよう。
- ・地元住民の意見を反映し、自然環境に配慮した河川改修を行ったことで、河川岸を散策する人々から喜ばれていることは評価できる。
- ・あまり欲張らずに、桜をテーマとして、かつ目標を絞ったことにより、合意形成、市民からの協力がスムーズになったのではないかな。
- ・景観を整え、「水辺の緑化と市民のシンボルロードづくり」による市民連携が期待できる。



施工前



施工後